

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題  
(令和7年3月26日)

申請者名 (法人名) \_\_\_\_\_

受験者の氏名 \_\_\_\_\_

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、標題及び設問文は、一部語句等を修正または省略している場合があります。

I. 次の問題1から問題20の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を  
( ) 内に記入しなさい。

問題1 (安全衛生教育)

事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。(労働安全衛生法)

( )

問題2 (一般貨物自動車運送事業の許可)

一般貨物自動車運送事業を經營しようとする者は、都道府県知事の許可を受けなければならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題3 (労働条件の決定)

労働条件は、労働者と使用者が、対等の立場において決定すべきものである。(労働基準法)

( )

#### 問題 4 (定義)

この法律において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送（自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。）を利用してする貨物の運送をいう。（貨物自動車運送事業法）

( )

#### 問題 5 (過積載の防止)

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送の防止について、運転者、特定自動運行保安員その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

( )

#### 問題 6 (自動車の運転者の遵守事項)

自動車の運転者は、高速自動車国道等において自動車を運転しようとするときは、あらかじめ、燃料、冷却水若しくは原動機のオイルの量又は貨物の積載の状態を点検し、必要がある場合においては、高速自動車国道等において燃料、冷却水若しくは原動機のオイルの量の不足のため当該自動車を運転することができなくなる事又は積載している物を転落させ、若しくは飛散させることを防止するための措置を講じなければならない。（道路交通法）

( )

#### 問題 7 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。（貨物自動車運送事業法）

( )

#### 問題 8 (労働条件の明示)

使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して賃金、労働時間その他の労働条件を明示しなければならない。この場合において、賃金及び労働時間に関する事項その他の厚生労働省令で定める事項については、厚生労働省令で定める方法により明示しなければならない。（労働基準法）

( )

問題 9 (整備管理者)

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため、自動車の点検及び整備に関し特に専門的知識を必要とすると認められる車両総重量八トン以上の自動車その他の国土交通省令で定める自動車であつて国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。(道路運送車両法)

( )

問題 10 (遅延利息)

親事業者は、下請代金の支払期日までに下請代金を支払わなかつたときは、下請事業者に対し、下請事業者の給付を受領した日(役務提供委託の場合は、下請事業者がその委託を受けた役務の提供をした日)から起算して三十日を経過した日から支払をする日までの期間について、その日数に応じ、当該未払金額に公正取引委員会規則で定める率を乗じて得た金額を遅延利息として支払わなければならない。

(下請代金支払遅延等防止法)

( )

問題 11 (事業計画)

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業者が前項の規定に違反していると認めるときは、当該運行管理者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題 12 (解雇制限)

使用者は、労働者が業務上負傷し、又は疾病にかかり療養のために休業する期間及びその後六十日間並びに産前産後の女性が第六十五条の規定によって休業する期間及びその後六十日間は、解雇してはならない。ただし、使用者が、第八十一条の規定によって打切補償を支払う場合又は天災事変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となつた場合においては、この限りでない。(労働基準法)

( )

問題 1 3 (相続)

一般貨物自動車運送事業者が死亡した場合において、相続人（相続人が二人以上ある場合においてその協議により当該一般貨物自動車運送事業を承継すべき相続人を定めたときは、その者。以下同じ。）が被相続人の経営していた一般貨物自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後六十日以内に、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法）

( )

問題 1 4 (報告及び検査)

中小企業庁長官は、下請事業者の利益を保護するため特に必要があると認めるときは、親事業者若しくは下請事業者に対しその取引に関する報告をさせ、又はその職員に親事業者若しくは下請事業者の事務所若しくは事業所に立ち入り、帳簿書類その他の物件を検査させることができる。（下請代金支払遅延等防止法）

( )

問題 1 5 (報告書の経由)

この省令の規定により国土交通大臣に報告書又は届出書を提出するときは、所轄地方運輸局長を経由することができる。（貨物自動車運送事業報告規則）

( )

問題 1 6 (事故の報告)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車が、程度の大小にかかわらず事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

( )

問題 1 7 (作成及び届出の義務)

常時五人以上の労働者を使用する使用者は、就業規則を作成し、行政官庁に届け出なければならない。（労働基準法）

( )

問題 1 8 (点検等のための施設)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の使用の本拠ごとに、事業用自動車の点検及び清掃のための施設を設ける必要はない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)  
( )

問題 1 9 (事業の休止及び廃止)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その三十日前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)  
( )

問題 2 0 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、第一項の規定により運行管理者を選任したときは、遅滞なく、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。これを解任したときも、同様とする。(貨物自動車運送事業法)  
( )

II. 次の問題 2 1 から問題 2 4 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 2 1 (業務の記録)

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該業務を行った運転者等ごとに必要事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならないが、次のア～ウについて、記録させる事項として正しいものには○を、誤っているものには×を( )内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 運転者等が従事した運行の業務に係る事業用自動車の自動車登録番号

その他の当該事業用自動車を識別できる表示

イ. 運転者の住所

ウ. 休憩又は睡眠をした場合にあつては、その地点及び日時

ア ( )

イ ( )

ウ ( )

問題 2 2 (目的)

次の(1)及び(2)に当てはまる語句として正しいものを1つ選び、( )に記入しなさい。

この法律は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ( 1 )なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって( 2 )の増進に資することを目的とする。(貨物自動車運送事業法)

ア. 効率的	イ. 合理的	ウ. 安定的	エ. 経済	オ. 公共の福祉	カ. 利用者の利便
--------	--------	--------	-------	----------	-----------

(1) ( )

(2) ( )

問題 2 3 (運行記録計による記録)

貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による乗務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～キの中から選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

一般貨物自動車運送事業者等は、車両総重量が【 ① 】以上又は最大積載量が【 ② 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 ③ 】保存しなければならない。

ア. 4トン	イ. 5トン	ウ. 7トン	エ. 8トン	オ. 1年間	カ. 2年間	キ. 3年間
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

① ( )

② ( )

③ ( )

問題 2 4 (過労運転等の防止)

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から 2 つ  
選び ( ) に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 日々雇い入れられる者

イ. 過去 1 年以内に事業用自動車で事故を起こした者

ウ. 試みの使用期間中の者 ( 1 4 日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

( )

( )

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題  
(令和7年3月26日)

申請者名 (法人名) \_\_\_\_\_

受験者の氏名 \_\_\_\_\_

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、標題及び設問文は、一部語句等を修正または省略している場合があります。

I. 次の問題1から問題20の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を  
( ) 内に記入しなさい。

問題1 (安全衛生教育)

事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。(労働安全衛生法)

( ○ )

問題2 (一般貨物自動車運送事業の許可)

一般貨物自動車運送事業を經營しようとする者は、都道府県知事の許可を受けなければならない。(貨物自動車運送事業法)

( × )

問題3 (労働条件の決定)

労働条件は、労働者と使用者が、対等の立場において決定すべきものである。(労働基準法)

( ○ )

問題 4 (定義)

この法律において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送（自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。）を利用してする貨物の運送をいう。（貨物自動車運送事業法）

( ○ )

問題 5 (過積載の防止)

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送の防止について、運転者、特定自動運行保安員その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

( ○ )

問題 6 (自動車の運転者の遵守事項)

自動車の運転者は、高速自動車国道等において自動車を運転しようとするときは、あらかじめ、燃料、冷却水若しくは原動機のオイルの量又は貨物の積載の状態を点検し、必要がある場合においては、高速自動車国道等において燃料、冷却水若しくは原動機のオイルの量の不足のため当該自動車を運転することができなくなる事又は積載している物を転落させ、若しくは飛散させることを防止するための措置を講じなければならない。（道路交通法）

( ○ )

問題 7 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。（貨物自動車運送事業法）

( × )

問題 8 (労働条件の明示)

使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して賃金、労働時間その他の労働条件を明示しなければならない。この場合において、賃金及び労働時間に関する事項その他の厚生労働省令で定める事項については、厚生労働省令で定める方法により明示しなければならない。（労働基準法）

( ○ )

問題 9 (整備管理者)

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため、自動車の点検及び整備に関し特に専門的知識を必要とすると認められる車両総重量八トン以上の自動車その他の国土交通省令で定める自動車であつて国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。(道路運送車両法)

( O )

問題 10 (遅延利息)

親事業者は、下請代金の支払期日までに下請代金を支払わなかつたときは、下請事業者に対し、下請事業者の給付を受領した日(役務提供委託の場合は、下請事業者がその委託を受けた役務の提供をした日)から起算して三十日を経過した日から支払をする日までの期間について、その日数に応じ、当該未払金額に公正取引委員会規則で定める率を乗じて得た金額を遅延利息として支払わなければならない。(下請代金支払遅延等防止法)

( X )

問題 11 (事業計画)

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業者が前項の規定に違反していると認めるときは、当該運行管理者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法)

( X )

問題 12 (解雇制限)

使用者は、労働者が業務上負傷し、又は疾病にかかり療養のために休業する期間及びその後六十日間並びに産前産後の女性が第六十五条の規定によって休業する期間及びその後六十日間は、解雇してはならない。ただし、使用者が、第八十一条の規定によって打切補償を支払う場合又は天災事変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となつた場合においては、この限りでない。(労働基準法)

( X )

問題 1 3 (相続)

一般貨物自動車運送事業者が死亡した場合において、相続人（相続人が二人以上ある場合においてその協議により当該一般貨物自動車運送事業を承継すべき相続人を定めたときは、その者。以下同じ。）が被相続人の経営していた一般貨物自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後六十日以内に、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法）

( × )

問題 1 4 (報告及び検査)

中小企業庁長官は、下請事業者の利益を保護するため特に必要があると認めるときは、親事業者若しくは下請事業者に対しその取引に関する報告をさせ、又はその職員に親事業者若しくは下請事業者の事務所若しくは事業所に立ち入り、帳簿書類その他の物件を検査させることができる。（下請代金支払遅延等防止法）

( ○ )

問題 1 5 (報告書の経由)

この省令の規定により国土交通大臣に報告書又は届出書を提出するときは、所轄地方運輸局長を経由することができる。（貨物自動車運送事業報告規則）

( ○ )

問題 1 6 (事故の報告)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車が、程度の大小にかかわらず事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

( × )

問題 1 7 (作成及び届出の義務)

常時五人以上の労働者を使用する使用者は、就業規則を作成し、行政官庁に届け出なければならない。（労働基準法）

( × )

問題 1 8 (点検等のための施設)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の使用の本拠ごとに、事業用自動車の点検及び清掃のための施設を設ける必要はない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( × )

問題 1 9 (事業の休止及び廃止)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その三十日前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

( ○ )

問題 2 0 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、第一項の規定により運行管理者を選任したときは、遅滞なく、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。これを解任したときも、同様とする。(貨物自動車運送事業法)

( ○ )

II. 次の問題 2 1 から問題 2 4 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 2 1 (業務の記録)

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該業務を行った運転者等ごとに必要事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならないが、次のア～ウについて、記録させる事項として正しいものには○を、誤っているものには×を( )内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 運転者等が従事した運行の業務に係る事業用自動車の自動車登録番号

その他の当該事業用自動車を識別できる表示

イ. 運転者の住所

ウ. 休憩又は睡眠をした場合にあつては、その地点及び日時

ア ( ○ )

イ ( × )

ウ ( ○ )

問題 2 2 (目的)

次の(1)及び(2)に当てはまる語句として正しいものを1つ選び、( )に記入しなさい。

この法律は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ( 1 )なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって( 2 )の増進に資することを目的とする。(貨物自動車運送事業法)

ア. 効率的	イ. 合理的	ウ. 安定的	エ. 経済	オ. 公共の福祉	カ. 利用者の利便
--------	--------	--------	-------	----------	-----------

(1)( イ )

(2)( オ )

問題 2 3 (運行記録計による記録)

貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による乗務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～キの中から選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

一般貨物自動車運送事業者等は、車両総重量が【 ① 】以上又は最大積載量が【 ② 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 ③ 】保存しなければならない。

ア. 4トン	イ. 5トン	ウ. 7トン	エ. 8トン	オ. 1年間	カ. 2年間	キ. 3年間
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

①( ウ )

②( ア )

③( オ )

問題 2 4 (過労運転等の防止)

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から 2 つ  
選び ( ) に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 日々雇い入れられる者

イ. 過去 1 年以内に事業用自動車で事故を起こした者

ウ. 試みの使用期間中の者 ( 1 4 日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

( ア )

( ウ )

## 法令試験実施状況

実施年月	受験者数	合格者数
令和7年3月	4	4

合格率 100%